

「現代社会研究」執筆規程

2014年12月3日

制 定

第1条 原稿の分量

投稿原稿（以下「原稿」という）は、本文、参考・引用文献リスト、脚注、図表、写真、要約、キーワード等を含めて以下の通りとする。

「論文」20,000字程度、「研究ノート」10,000字程度、「その他」（フィールドノート、講演会の要約、資料など）10,000字程度。

要約は、和文の場合は400字程度、キーワードは3つ程度とする。

第2条 投稿資格

- 1 現代社会研究に投稿可能な者は、原則として本学会の正会員と名誉会員とする。
- 2 編集委員は賛助会員に執筆を依頼することができる。
- 3 共同執筆については、本学会の正会員、名誉会員、賛助会員が筆頭著者であることとする。

第3条 書式

- 1 原稿は、ワープロソフト（WS-word、または一太郎）で作成すること。
- 2 本文は原則として横書きとし、1頁の文字数と行数は、和文横書き原稿は全角44字×36行、欧文原稿は半角88字×36行とすること。
- 3 原稿には一連の頁番号を付すこと。
- 4 本文の冒頭には論文題目と著者名を明記すること。
- 5 図表や写真等の位置については原稿の中で指示し、B5判に縮小しても判読可能な大きさにすること。ただし、それらが該当ページにおさまらない場合、編集委員会が必要に応じてサイズやレイアウトの変更を求めることがある。
- 6 特殊な図表や文字、手書き原稿での提出等については、あらかじめ編集委員会と相談すること。
- 7 図・表は、それぞれ（図1）（表1）のように通し番号およびタイトルを付けること。タイトルは、図の場合にはその下、表の場合にはその上とすること。
- 8 図表に関して、他の著作物からの引用は、出典を明記し、必要な場合は著作権保有者から許可を得ること。
- 9 本文への説明注は、該当箇所の右肩に上付き文字で順に1), 2)・・・と番号を付し、注は本文末尾に一括すること。ワープロ等の番号や脚注の自動機能を使わないこと。
- 10 本文と注で言及する参考・引用文献等は、原則として、一括してアルファベット順に並べた文献リストを作成し、論文末尾に付すこと。基本的に、書籍の場合は、著者氏名、西暦発行年、書名、出版社、該当頁を記載し、論文の場合は、著者氏名、西暦発行年、論文名、掲載誌、名・巻・号、出版社（または編者氏名、収録書名、出版社）、該当頁を記載すること。

例)

Fromm, Erich, 1941, *Escape from Freedom*, New York: Reinehart and Winston. (= 1951, 日高六郎訳

『自由からの逃走』東京創元社.)

高橋徹, 1965, 「日本における社会心理学の形成」高橋徹・富永健一・佐藤毅『社会心理学の形成』培風館, 317-505.

Yasuda, Saburo, 1964, "A Methodological Inquiry into Social Mobility." *American Sociological Review*, 29(1): 16-23.

綿貫讓治, 1994, 「比較論・国際関係論的に見た日本の政治と社会」『社会学評論』45(2): 158-71.

第4条 提出様式

- 1 原稿には所定の表題用紙に必要な事項を記入し添付すること。和文原稿の場合は論文題目の欧文訳と著者名のローマ字表記を記載すること。
- 2 印字原稿 (A4判) と電子原稿を提出すること。

第5条 この執筆規程は、現代社会学会評議員会の議を経て改正することができる。

附 則

この執筆規程は、2014年12月3日から施行する。

附 則 (2018年12月5日)

この執筆規程は、2018年12月5日から施行する。

以上